



# きよせ市議会だより

平成25年11月15日第199号  
(2013年)

発行 清瀬市議会  
清瀬市議会事務局  
清瀬市中里5-842  
電話 (042) 492-5111(代)  
FAX (042) 495-1189  
清瀬市ホームページ  
<http://www.city.kiyose.lg.jp/>



スポーツ祭東京2013 女子サッカー選手とエスコートキッズ(下宿第三運動公園)

## 平成25年 第3回定例会 平成24年度の決算を認定

平成25年清瀬市議会第3回定例会は、9月3日(火)から9月27日(金)までの25日間の会期で開かれました。提出議案(意見書)6件、陳情2件を審議し、3件の報告を受けました。各特別会計歳入歳出決算は、所管の常任委員会において、それぞれ審査され、第3回定例会の最終日に委員長の審査報告を受け、採決を行った結果、平成24年度一般会計、各特別会計歳入歳出決算は、いずれも認定されました。提出された議案等の審査結果は、12面に掲載しています。

### 決算のあらまし

今定例会では、平成24年度清瀬市一般会計歳入歳出決算及び国民健康保険事業、下水道事業、駐車場事業、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計歳入歳出決算に関する議案のほか、市長提出議案(補正予算・条例等)16件、議員提出議案(意見書)6件、陳情2件を審議し、3件の報告を受けました。各特別会計歳入歳出決算は、所管の常任委員会において、それぞれ審査され、第3回定例会の最終日に委員長の審査報告を受け、採決を行った結果、平成24年度一般会計、各特別会計歳入歳出決算は、いずれも認定されました。提出された議案等の審査結果は、12面に掲載しています。

平成24年度一般会計の決算は、歳入総額275億6千887万円、歳出総額266億991万円で、歳入歳出差引額は、9億5千896万円となり、前年度実質収支額10億4千723万円と比較して8千827万円の減額となり実質収支比率は6.5%(前年度7.2%)となりました。

歳入では、地方交付税や繰越金が増額したほか、生活保護費や自立支援給付費の増加により、国・都支出金が増額となりました。しかし、清瀬第九小学校跡地売払いの皆減により財産収入が前年度に比べ7億7千666万円と大きく減額したほか、市税が2億1千51万円減額したことにより、前年度より歳入総額で1億3千586万円の減少となりました。

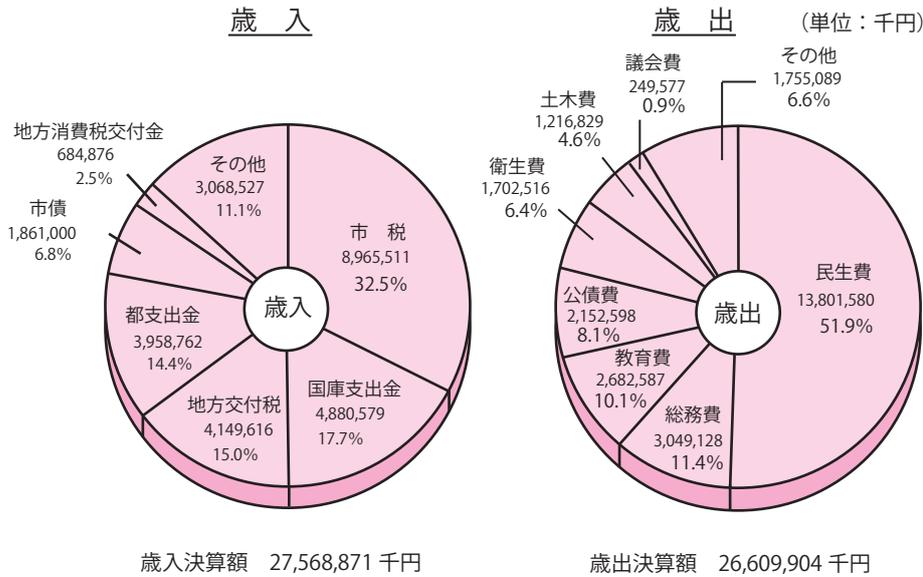
歳出では、平成23年度に都立清瀬東高等学校跡地購入にかかる借入金の一部繰上償還を実施した影響などにより公債費が前年度に比べ9億1千865万円の減額となったほか、下宿第三運動公園サッカー場整備工事の完了等により普通建設事業費が2億837万円減額となりました。一方、生活保護費や自立支援給付費など社会保障のための扶助費が3億6千419万円の増額などにより、結果として歳出総額では、前年度より7千566万円の増加となりました。

平成24年度一般会計の決算は、歳入総額275億6千887万円、歳出総額266億991万円で、歳入歳出差引額は、9億5千896万円となり、前年度実質収支額10億4千723万円と比較して8千827万円の減額となり実質収支比率は6.5%(前年度7.2%)となりました。

歳入では、地方交付税や繰越金が増額したほか、生活保護費や自立支援給付費の増加により、国・都支出金が増額となりました。しかし、清瀬第九小学校跡地売払いの皆減により財産収入が前年度に比べ7億7千666万円と大きく減額したほか、市税が2億1千51万円減額したことにより、前年度より歳入総額で1億3千586万円の減少となりました。

歳出では、平成23年度に都立清瀬東高等学校跡地購入にかかる借入金の一部繰上償還を実施した影響などにより公債費が前年度に比べ9億1千865万円の減額となったほか、下宿第三運動公園サッカー場整備工事の完了等により普通建設事業費が2億837万円減額となりました。一方、生活保護費や自立支援給付費など社会保障のための扶助費が3億6千419万円の増額などにより、結果として歳出総額では、前年度より7千566万円の増加となりました。

款別決算額比較表(図表)



一般会計歳入歳出決算内訳

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支
24年度	27,568,871	26,609,904	958,967	0	958,967
23年度	27,704,740	26,534,235	1,170,505	123,275	1,047,230
差引	▲135,869	75,669	▲211,538	▲123,275	▲88,263

平成24年度 一般会計決算討論要旨

反対討論 日本共産党

賛成討論 清瀬自民クラブ

賛成討論 公明党

国民所得は下がり続け市民生活が厳しさを増すなかで、2012年度は、国保税の値上げと小学校2校で給食の民間委託が行われました。国保税の値上げでは、本市は赤字になると説明してきましたが、実質繰越額は値上げ額を超える3億1千万円の黒字となりました。

払いたくても払えない世帯は急増し、負担は限界を超えています。国保税の値下げを検討すべきです。

また、小学校給食の民間委託で給食に係る経費の一部では逆に増えています。効率化優先ではなく安全安心な学校給食を求めます。

本市は財政の厳しさを強調しますが、2012年度決算の基金残高は、一番厳しかった時の30倍にもおよぶ20億円を超えています。国保税の申請減免の拡充など市民生活を守る施策の拡充を求めます。

我が国の長きに渡るデフレ経済は自民党政権誕生まで、様々な金融緩和政策も景気を反転させることはできず、加えて平成23年の大震災もありました。さて、昨年は第3次清瀬市長期総合計画(後期基本計画)が半ばになり、そのようななか、平成24年度の主な事業を評価しますと、まず雇用対策、市報のリニューアル、名誉市民に澄川喜一氏を選定、16の公共施設の耐震診断、太陽光発電機器設置等。

また財政の弾力性を示す經常収支比率を見ますと義務的経費の人員費、扶助費、公債費は依然として高く、多額の財源を要する課題が多く、引き続き財政の健全化への努力が求められています。

しかし、これまでの行財政改革への取り組みは高く評価でき、今後の市財政運営に対して期待できるものと判断し、決算の認定に賛成致します。

平成24年度予算は、行政マーンではない民間出身の渋谷市長により初めて執行された予算であり、前年度に起きた東日本大震災から災害対策にも力を入れたものとなっています。

内容は、「市民の生活を守る安全・安心なまちづくり」「子ども達が輝くまちづくり」「エコーリズムの発想によるまちづくり」の3つからなり、渋谷市長ならではの内容と評価致します。

1点目では、地域の防災力のさらなる強化を。

2点目では、「赤ちゃんのチカラプロジェクト」や学校の屋上防水工事を。

3点目では、清瀬の誇れる歴史や文化の発信を推進されました。中でも市長のトップ外交は、それぞれ大きな成果をあげています。

これらの点を高く評価し、24年度決算に賛成致します。

# 市政を問う

## 一般質問(要旨)



日本共産党  
原田ひろみ

### 社会保障制度の改悪に反対の声を

安倍政権が進める医療・介護・年金・子育てなど全世代に強要する社会保障改悪は、憲法25条を否定し国の責任を放棄するものです。  
市民アンケートには生活困窮や将来負担を訴える声が多く、これ以上の負担増や福祉切り捨ては許されません。福祉増進に責任もつ市長として反対の声をあげるべきです。  
市長 ささまざまな行政課題に

確実に対応していくためには、一定の改革が必要です。行政全般について常に改革をしなから最少の費用で最大の効果を挙げられるように、持つていくのが、行政に当たっている者の責任だと思っています。

### 待機児童解消に逆行する市立保育園の廃園は撤回を

市立第5保育園に続き、第4保育園の廃園計画が示されました。経費削減が目的であり、待機児童解消に逆行します。私立による定員増は重要ですが、児童福祉法第24条で本市の保育実施責任は明確であり、市立は地域の保育の質向上へ充実が必要です。

### 市役所の耐震化は経費を抑える大規模改修の選択を

市役所耐震化へ、市は建て替え方針を示しましたが、総額30億円を超えます。一方市民への負担増や基金積立が行われており、看過できません。耐震化は経費のより少ない大規模改修で行うべきです。  
企画部長 災害のときに防災の拠点施設となる場所が崩れ



日本共産党  
宇野かつまる

### 高齢化の中、集いやすい場づくりの促進を求める

多摩26市中、高齢化率は1位で25%を超え、先進的取り組みが求められています。  
「ふらっとサロン」の充実とともに、趣味やスポーツの場の紹介や、各地域の活動、他の公共施設の活用などが必要です。見解を求めます。  
健康福祉部長 市民のサロン活動やスポーツ、文化活動などの紹介は、「きよせサロンマップ」、生涯学習ガイド「まなびすと」などの各パンフレット類などで情報を発信しています。また各サロンの運営状況などを調査してみた

### 旭が丘学童クラブ跡地に集会所の設置を求める

旭が丘学童クラブが清明小敷地内に移設したのですからその跡地こそ、地域住民が気軽に集える集会所の設置を求めます。  
企画部長 公共施設の将来にかかる費用を算出し、公共施設の使われ方や稼働率、また今後どのような公共施設が求められていくのかなどを検証し、再整備を図っていく必要があると考えています。今のところ新たな公共施設の建設は難しいと考えています。

### 清明小の団地側通学路をスクールゾーンに

旭が丘にある清明小の南、団地側通学路は、見通しが悪く、児童の登下校に危険です。地域の青少協でも、今年の冬、夏とも、1週間、登校時



日本共産党  
佐々木あつ子

### 生保基準の切り下げは生存権を否定するもの

生活保護費の基準引き下げが8月から実施されましたが、生存権を侵害する問題であり全国では「不服申請」が広がっています。  
基準の見直しは、国民全体の生活水準を引き下げ、最低賃金や就学援助制度、保育料などにも影響を及ぼします。

制度の水準維持のために本市独自の救済を求めます。

**副市長** 生活保護基準の見直しに関し、国は生活保護基準を参照しているものは、できる限り影響が及ばないよう対応するとしています。また、住民税非課税限度額を参照しているものは平成26年度以降の税制改正の議論を踏まえて対応するとしています。

**介護保険のさらなる改悪は「やめよ」の声を**

安倍政権は、介護保険の費用を抑えるために「要支援者」を介護保険の対象からはずし、特養ホームでは所得の低い方が受けられる利用料の軽減策をいっそう厳しくします。これでは、サービスが使えず、生活困難になる高齢者が続出してしまいます。

さらなる改悪について、本市として声を上げるべきです。**健康福祉部長** 介護保険制度の改正は、これから国の給付分科会などでも議論がされていきますので、その情報をしつかりつかんで、それか

ら具体的に市民に大きな影響がある場合は東京都市長会などを通じて国に意見を申し上げていきたいと考えています。

**清瀬小児病院跡地活用はまず、市民の意見集約を**

東京都は、跡地の活用について清瀬市の意向を尊重すると述べていますが、早急に市民の意見集約をはかり、都と活用条件を交渉すべきです。

**副市長** 東京都では跡地の活用について平成27、28年度あたりがタイムリミットとしておりますので、平成26年度に入ってから具体的な協議に入っていくのではないかと考えています。今後、議会の皆様とも議論しながら、進めたいと考えています。



日本共産党 深沢まさ子

**野塩・下宿地域市民センターの耐震化を早急に**

野塩・下宿地域市民センターは、災害時の避難所に指定

され、つどいの広場事業や児童館機能を併せ持った施設です。市役所の耐震化と並行して、耐震化を急ぐべきです。見解を伺います。

**副市長** 野塩・下宿地域市民センターは1S値が0.6以上あり

ますので、庁舎の建て替えの後にさせていただきたいと思っております。財政的に余裕が出てくるようなことがあれば、前倒しということも考えられるのですが、今の時点では難しいと思っております。

**清瀬市の奨学金制度は給付制に改善を**

自公政権は来年度から公立高校の授業料無償化に所得制限を導入しようとしています。「社会全体で学び支える」という教育無償化の理念に反し、世界の流れにも逆行します。

奨学金制度の充実が求められます。本市の奨学金制度を給付制に改め、支給額も増額していくことを求めます。

**教育部長** 他市においては高等

学校授業料無償化に合わせて奨学金貸付制度を、廃止

した市もある中、本市では継続実施しています。なお、今年度の行政評価・外部評価の対象となつていきますので、審議経過を見守っていききたいと考えています。

**利用しやすい買い物キャロット便に改善を**

買い物困難者への対策として、今年度から本格実施が始まった買い物キャロット便の利用が進んでいません。

より利用しやすいものへ一括注文制の導入やカタログの改善も求められますが、登録店が複数参加しての出張販売なども検討し、利用者を増やす取り組みを求めます。

**市民生活部長** 定期的に行っ

ています「買い物弱者検討委員会」において、議員提案の買い物困難地域への出張販売や一括注文制度等、利用しやすい制度への改善も併せ、議論を重ねて行きたいと考えています。



公明党 鈴木たかし

**小児病院跡地活用①現状はどうなっていますか？**

小児病院跡地の活用方法について、市民も大きな関心を持つています。本市独自の購入・活用は難しいことから、

今後の都の意向が重要となつてきます。現状の都の考え、また浄水場移転の件も合わせ、現状についてお伺いします。

**企画部長** 東京都より元町浄

水場の老朽化により清瀬小児病院跡地の約半分、2万平米を活用して、元町浄水場の代替施設を建設したいと考えているという話を伺っています。詳細につきましては、今後も情報収集に努めていきたいと思

**小児病院跡地活用②近隣エリアとして活用を**

隣接するリハビリテーション学院跡地と中央公園は東京

病院から土地をお借りして、その利用は本市に委ねられていると思います。小児病院跡地だけでなく、リハビリテーション学院跡地、中央公園と3つを合わせたエリアとして再整備できないでしょうか。

**企画部長** 小児病院跡地、リハビリテーション学院跡地、中央公園の一体的な整備は、土地所有者が異なり、それぞれの土地所有者の財政状況の都合などもありますので、難しいと思つています。今後情報収集をしながら、要望を行つていきたいと思

**小児病院跡地活用③慰霊の意義を込めた公園に**

小児病院では多くの児童が亡くなりました。その跡地では、慰霊の意義もこめた施設も設けていくべきと思

います。もし浄水場が移転されるなら、その壁面にアニメ作家による絵などを描いて頂くなども考えられないでしょうか。**市長** 調べたら昭和20年あたりでは、結核で亡くなつてい



公明党 斉藤あき子

緊急時に役立つ救急医療情報キットの導入を

子が千300人と書いてありました。結核の子どものために建てられたのが、清瀬小児病院です。その子どもたちの心を鎮魂するためにも絵を描いてもらうことを頼みに行く価値は十分あると思います。

健康マイレージ事業の取り組みについて

この事業は、健康診断の受診やスポーツ活動への参加などでポイントをとめると特典が利用できる取り組みで、市民が健康づくりに励むことで医療費や介護費の減少、また地域経済の活性化などが期待できます。今後の取り組みについて伺います。



公明党 西畑春政

自転車の視点からの街づくり

いる、がん教育プログラムを活用し、がん教育に力を入れるべきと考えます。見解を伺います。教育部参事 文部科学省では、がん教育に関する保健教育を強化するとの見解を発表しました。教育委員会は、今後これら国の動向を注視しつつ、命の教育とがん予防を含めた健康教育とを関連づけた指導のあり方について、研究をしていきたいと考えています。

\*コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の創設

既存の福祉の枠組みでは支援を受けられない「制度のほさま」で苦しむ人たちの問題解決に取り組むのが、「コミュニティソーシャルワーカー(CSW)」です。CSWを配置し、生活困窮者に対する包括的な相談支援事業の創設を求めます。



公明党 西上ただし

緊急時、速やかな連携を図る情報カードの整備を

政府の教育再生実行会議は英語教育拡充などを掲げた第3次提言を行いました。このままの状態では中高6年かけて英語ぐらいを量産するよりも話せる子をたくさん育てるために、英語教育の抜本改革に取り組む英語教育改革プロジェクトチームの発足を求めます。教育部参事 今後、英語教育のみならず、他の教科におけるましても、これからの本市学校教育のあり方を展望し、具体的な対策を検討する組織を立ち上げ、議論を深めていきたいと考えています。

英語教育改革について

医療機関の連絡先などを記入する緊急時対応の「子ども安心カード」を作成、運用を始めた。本市でも学校、保育園、学童などに導入を提案する。教育部長 学校給食のアレルギー対応児童・生徒は、対象者ごとに緊急時個別対応カードを作成して、万一の場合に備えています。「子ども安心カード」については、個人情報の管理も踏まえた中で、調査・研究に努めていきたいと考えています。

イベント開催時、万全の安全対策を求む

福知山市・花火大会での露店爆発は、決して起こってはならない事故。清瀬市民まつりや農業まつりなど今後開催されるが、万全の安全対策での取り組みが必要。出店者への安全管理指導、火事や地震発災時の避難誘導体制など具体的な取り組みが必要。見解を問う。

健康福祉部長 救急医療情報キットは緊急時の高齢者や障害者などの支援に大変有効です。また他市においても導入が進んでいることから、今後導入に向けて、時期や対象者の規模、配布方法などについて

小中学校でのがん教育の充実を

子どものころから、がんの予防や生命の大切さを学ぶことは極めて重要であると考えます。他自治体で導入されて

都市整備部長 今、全国各地

必要な準備をしていきたいと考えています。

渋川市は救急搬送時、学校と消防署などが迅速に連携できるよう、病歴・服用薬・アレルギーの有無・かかりつけ

企画部長 きよせ市民まつりの安全対策ですが、消防署にご協力をいただき、出店説明

会で全ての出店者に火気の取り扱いについて指導していただきます。また、異常事態が発生した場合には、会場管理計画に基づき速やかな対応をとることとしていきます。

**要援護者支援、個々の救出  
・支援体制の整備を**

災害発生時から時系列で物語を進める**目黒巻**。この目黒巻は、自分を主人公とした行動計画であるが、これを要援護者の物語として作成し、サポートする側の支援行動計画・個別支援計画に展開できないか、見解を伺う。

**健康福祉部長** 個別支援計画を作成する際に、目黒巻は、要援護者ご本人と支援者双方の災害時のイメージトレーニングができることから、万が一のときに迅速な避難行動につながると思いますので、実施方法などを検討していきたくて考えているところです。



風・生活者 ネット  
宮原理恵

**投票率を上げるための更なる取り組みについて**

昨年12月からの選挙では、全国的に投票率の低さが際立った。期日前投票の促進や、投票所に向くことが難しい方々のための各種制度の拡充と周知を求める。更なる高齢化を迎え、公職選挙法は改善すべき点がある。投票率の高い清瀬市から、国に提言を。

特有の現象。女性が働きやすいほど国際競争力が高いと言われる。子育てしながら働き続けられる環境の更なる整備を望む。市役所内の女性の活用や男性の育児休業の取得率の推移を伺う。

**男女平等についての教育を**

**選挙管理委員会事務局長** 期日前投票所の増設は、人的な問題、機器等の管理の問題等がありますので非常に難しいと考えています。不在者投票の告知は、投票所入場整理券、市報、ホームページ等に掲載して制度の周知徹底を図っています。

**男女平等推進条例の進捗状況について**

20〜30歳代の女性の就労が落ち込む「M字曲線」は日本

子どもを取り巻く環境にも性的虐待、家庭内のDV、デートDV、就職差別等がある。子ども向けパンフレットを活用するなど、義務教育でしっかり学ぶことが必要。総合相談支援センターでも対応できるように体制を求める。

**教育部参事** 男女の違いを全て否定するような行き過ぎた男女平等教育に陥らないよう、

**評価の見える化で効果的な予防プログラムを**

生活機能の検査で低下がみられた高齢者に対して、介護予防プログラムによる機能向上訓練が実施されている。機能が高まったかを客観的に評価することで、やる気やプログラム選別につながる。今後は現状と今後について伺う。



風・生活者 ネット  
小西みか

**多職種の視点で効果的な介護予防ケアプランを**

生活の質を落とさず在宅生活を維持するために、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・歯科医師・リハビリの専門職等から各個別プランに対する助言を望むが考えを伺う。

**健康福祉部長** 本市では、地域包括支援センター運営協議会内に設置する地域ケア推進部会で個別事例のモデル検討会を本年5月に試験的に実施しています。このようなことも含めて、来年度以降具体的に検討を進めていきたいと考えています。

**家族を支え虐待を防ぐ市民  
後見人の育成を**

認知症等の高齢者の権利を守る成年後見制度に対する需要が高まっている。現在、家族が後見人を担うケースがほとんどだが、制度を熟知した第三者が引き受けることで、相談機能を果たし、虐待予防にもつながる。現在も後見人を担う専門家はいるが、地域の人材を活用し、育てていく



風・生活者 ネット  
石川秀樹

**「個」の確立を目指す教育を  
求める**

集団の中でひたすら「空気を」読み、他人と違った意見を述べることを、どうしてこれほど怖れるようになってしまったのか。集団の中で教育という学校教育の手法が、結局は個の確立を妨げることになっていないか。

**教育部参事** 今後もかわり

の中で子どもを育て成長させるといふ学校教育の理念を根

\*印は、10ページに用語の解説があります。

定に据え、個を確立する教育の実現に全力で取り組んでいきたいと考えています。

**学校は地域コミュニティの核たり得るか**

今後は地域市民センター等の箱モノを作つての施策展開は難しいので、学校施設を開放し地域コミュニティの核にしていくという動きは加速するはずだ。それなのに教室に余裕がないからと地域住民の利用を拒否し続けているのは、学校は地域コミュニティの核とは成り得ないのではないかと**教育長** 学校の運営に関して、運営連絡協議会が核になって、いろいろな団体やいろいろな使い方をどうしたらいいのかを協議しながら、学校施設の利用について考えていったほうがいいと思っています。

**清瀬市の将来像を決める次期長期総合計画**

清瀬市の将来像を検討し、それをまちづくりに活かしていく機会は、実際のところ長期総合計画の策定期限に限定

されていると思う。次期長期総合計画の策定について、現在どのような活動を行っているのか。

**企画部長** 現在、若手職員29人からなるプロジェクトチームを組織して作業を行っています。ここでプロジェクトチームがまとめた次期計画の策定方針案をホームページに掲載し、市民の皆様のご意見を受け付けているところです。



風・生活者 ネット 斉藤 実

**「市政運営の基本的な考え方」について**

財政的基盤が弱い清瀬にとつて市政運営は大変だと思いますが、そのためにも市職員力を引き出す必要があると思います。市長として職員を動かすための具体的な市政運営を図るためにどのような考え方を持っているのか伺います。

**市長** 私は現場力、現場主義です。現場が問題課題と何とか向かい合つてしっかり汗や

知恵を出していけば解決していくわけですから、そのために現場を大切にしますし現場力を大切にします。現場力が働くように環境整備をしなればならないと思っています。

**「2016年間の市政運営」について**

「渋谷市政」になり2年が経ちました。振り返ると就任直前の大震災など本当に大きな出来事がありました。市長として、この2年間をどのような気持ちで市政運営をしてきたのかをお聞きします。

**市長** 常に安全、安心、防災に万全を期すというのが基本的な構えです。その上で、人との出会いの縁を大切にしたい。あるいはこちらから積極的に動いていくといった気持などでこの2年間を進んできたと思います。

**「今後の市政運営」について**

これまでの市政運営について

て伺いましたが、今後も「市庁舎」問題や「防災対策」等財政的にも大変な課題が山積しています。

任期の残り期間で、何をどのように取り組むのかを伺います。

**市長** 任期の残り期間で何をどう取り組むのか。9月、10月でわかると思いますけれども、いろいろな課題がある中で、突如出てきた課題も真剣にやりたいと思っています。



清瀬 自民 クラブ 森田 正英

**都市農業発展の礎となる後継者の育成・支援**

景気低迷が続く中、農業経営・新規事業を進めるのに困難な状況がある。チャレンジする事業者に対する支援として、パワーアップ事業の補助増額や農地以外で研究等に利用している土地に対しての税制優遇など、支援の充実を求める。

**市民生活部長** パワーアップ

事業の補助は、全体の予算を見る中で清瀬市の農業がより元気になるように考えて、支援をしていきたいと考えています。税制優遇は非常に難しいと思っています。

**活力ある地域農業を築く担い手「認定農業者」**

農業者は5年後の具体的な経営目標を立て農業改善計画を作成し、市内では、100件程の農家が認定を受けている。本市の役割として、認定農業者の経営改善の達成度等の状況把握と、認定後3年目、5年目のフォローアップ活動が大切だが、対応を伺う。

**市民生活部長** 認定後のフォローアップ活動は、普及センターの指導員の先生と連絡を密に行い認定農業者の家を訪問し、計画推進状況や圃場での問題がないか等を定期的に行つていきたいと思っています。

**\*マイナンバー制度導入への対応について**

2015年中に個人と法人にそれぞれ固有の番号が交付

され、2016年1月から順次利用が始まる。条例改正や業務の見直しとともに各種業務システムの改修などシステムのインフラ整備について今後の対応を伺う。

**総務部長** 総務省による番号制度の説明会が予定されています。この説明会で番号制度の導入ガイドラインが示される予定です。今後、この制度の活用方針を決定し、コスト面を踏まえながらシステムの改修を実施していきたいと考えています。



清瀬 自民 クラブ 渋谷のぶゆき

**緑地を広域的に保全してほしい**

中央公園や松山緑地保全地域などの緑地から、東村山の全生園、多摩北部医療センターに至る周辺は、緑地が連なっている。

東京都や東村山市とも協議して、一体として保全を考えていくべきだと考えます。本

市の見解を伺います。

**副市長** 所有者がそれぞれ違います。またそれぞれ土地利用の考え方もありますので、一体的に残すのは、非常に難しい問題と想っています。どうすれば一体的に残せるか、これから研究していかなければいけないと思っています。

**清瀬市の避雷針の現状について**

日本では、官民ともに雷への防雷意識が低いと言われており、意識改革と対策が望まれるところです。

清瀬市においてはどの程度避雷針が設置されているか、避雷針が少ない地域はあるか、データがあるかどうか、ご見解を伺います。

**都市整備部長** 公共施設は、市役所庁舎、けやきホール、ころぼっくる（児童センター）、アミュー等に避雷針を設置してあります。また、東京都営住宅局の話では、市内114棟ある都営住宅のうち20棟に計32本の避雷針が設置してあるとのことでした。

**きよせ環境・川まつりについて**

今年も、環境フェアと川まつりが一つになり、開催されました。

環境問題を考える環境フェアと、川に親しむ川まつりは主旨の違いがあります。

今後、環境問題を訴えるというテーマについてどう力を入れるか、伺います。

**都市整備部長** 今後は実行委員会の中で、環境に関するコンセプトやテーマを明確にし、来場者にとってよりわかりやすいイベントにしていきたいと考えています。



清瀬 自民  
クラ ブ  
渋谷 けい し

**学童保育の現状と今後について**

近い将来、学童保育の対象年齢が拡大される動きがあるようだが、放課後子供教室との関係を含め、学童保育の待機児童問題の現状と今後の対応、また学童職員の研修の充実とAED未配備の学童について配備を要望したいが本市の見解を伺う。

子ども家庭部長 学童クラブの対象年齢が、小学校6年生まで、拡大されることになっています。今後、条例の整備を進め、拡大に対応していきたいと考えています。学童職員の研修の充実を図り、AED未設置の学童クラブにも設置するよう検討します。

**市役所新庁舎のあり方について全市民的な議論を**

市役所本庁舎の建て替えにより、大幅な耐震性の改善が図られ、リスクマネージメント面でも効果が大い上に、市民サービスも向上することが期待される。新庁舎の建設にあたっては、全市民的な議論を深め、最小限の財源で最大の効果を発揮する必要があると考えるが、本市の認識と今後の事業展開について伺う。

**企画部長** 市民の皆様のご意見を十分お聞きし、また、議会でも十分ご議論いただきな

から、新庁舎の整備を進めていきたいと考えています。今後の事業展開につきまして、平成26年度中に基本構想・基本計画を策定したいと考えています。

**観光協会等の設立で観光振興の促進を図れないか**

市長の主要施策でもある観光振興を促進、発展させるために観光協会などが設立できないか、また観光資源や年間行事・イベントを網羅した一元的な観光マップのようなものを作成できないか伺う。

**市民生活部長** 現状では観光協会の設立は難しいと考えます。現在あります本市のガイドマップに、ひまわりフェスティバル等の観光名所の情報を盛り込んだ観光マップを作成すれば、清瀬市の観光に役立つものと考えます。今後、前向きに検討します。



清瀬 自民  
クラ ブ  
中村 清治

**柳瀬川、金山公園付近の市民の河原利用について**

金山橋付近の川岸では、多くのグループが水遊びなどを行って休日等を楽しんでいます。先月、天候が急変し集中豪雨が発生、柳瀬川の水位も大幅に上がり、護岸は水没して、流れが急流となっていました。金山橋付近での水位注意勧告掲示板の設置を。

**都市整備部長** 河川における増水時の注意看板設置については、都へ要望してまいります。また、金山調節池駐車場も同様の看板設置をし、川遊びにおける注意喚起をしていきます。

**武蔵野線高架橋脚等の耐震対策について伺う**  
武蔵野線は貨物輸送を重点として整備されたが現在は客車車両が充実され利便性が大幅に改善された。東日本大震

災以後、建築構造物の耐震化対策が進んでいるが下宿地域の高架部分の橋脚耐震対策に差異がある。

今後の対応を伺う。

**都市整備部長** ご指摘の橋脚の管理につきましては、JR東日本とJR貨物に分かれて管理されている関係上、現在のような状況になっています。今後、残りを早急に進めていくよう要望してまいります。

**清瀬中学校の校庭管理状況と改善について**

清瀬中学校は、近隣中学校の生徒が数多く集まる試合がよく行われているが、校庭管理状況を見ると授業やクラブ活動に支障が起きていてと感じる。夏や春先は時には乾ききった状況下で試合が行われ砂塵が巻き上がっている。スプリンクラーで改善を。

**教育部長** 表面が硬化して風が吹くと砂ぼこりが舞う状況を改善するためには、スプリンクラー設置が必要となりますが、この整備に補助金制度はなく、一般財源での対応と

なります。従って、当面、学校には散水をお願いしていきたいと考えています。



清瀬 自民  
ク ラ ブ  
友野ひろ子

福祉の今後のあるべき姿に  
ついで

後期高齢者医療制度が平成20年に発足した。当時、対象者が110万人だったものが、平成25年度末には138万人となると発表された。政府は社会保障制度改革国民会議に提案を委ねているが、清瀬市として「福祉はかくあるべきだ」というご見解をお伺いします。

健康福祉部長 今後の理想の姿としては、高齢期を迎える方々がいつまでも元気に過ごしていただくために、早期から生活習慣病などを予防し、運動、文化活動、市民活動などさまざまな社会活動に取り組んでいただくことが大事なことだと考えています。

道路のネーミングについて

今、「観光日本ブーム」が起ころうとしています。「日本売り」戦略です。清瀬市も東横線乗り入れと同時にひまわりブームや「観光清瀬」を考えて、多くの人を呼び込み、また新住民の方々にもわかりやすいおしゃれな道路名をつけてみてはどうでしょうか。

都市整備部長 生活の基盤の基礎である道路に愛称をつけることは、市民の道路に対する愛護精神を高揚するとともに、魅力あるまちづくりに寄与すると考えられます。次に来る周年行事などにあわせて検討していければと考えています。

「お手伝い課・すべやる課」の創設について

高齢化が進み、一人住いも多くなっている昨今。例えば、雨戸がはずれた等、ちょっとしたお手伝いが必要なため、市役所内にすぐかけつけて下さる課があればという市

民の声がある。このような問題を解決できる課の創設についてお伺いします。

企画部長 行政サービスとして行う分野と市民の皆様が自助・共助で担うべき分野の棲み分けは行う必要があると思っております。その上で、行政が担うべきものについては、できる限り速やかに対応する必要がありますと考えています。



清瀬 自民  
ク ラ ブ  
齊藤正彦

ごみ減量、無料持ち帰り事業について

家庭で使わなくなった食器や衣類、玩具などを段ボール箱に入れて自宅前に置き、通りかかった人に無料で持ち帰ってもらう取り組みを、西東京市で行っていると聞きます。

ごみ減量や有効事業に繋がる、持ち帰り事業は行えないでしょうか、伺います。  
都市整備部長 ごみ減量、無料持ち帰り事業は、西東京市在住の方が提案し、主体とな

って活動している運動と聞いています。これはごみ減量対策の一つの方法として有効な運動と考えています。市内のごみ問題の団体などに話をしてみたいと思います。

都市農地保全対策について

都市農地保全推進自治体協議会は、国の都市計画制度の見直しや都市農業の振興、都市農地の保全に関する検討、農地の有益性を広く訴えています。\*TPPや担い手の確保

・育成、今後の農地政策、農業委員会活動など課題は山積んでいます。市の農地保全は、市民生活部長 清瀬市では、パワーアップ事業や今年度より新規事業として開始しました地域農業者支援事業等で応援することで、農家が安定した農業ができ、ひいては都市農地の保全対策につながるものと考えています。

介護による働き盛りの離職について

高齢化で親や配偶者の介護

に直面する、働き盛り世代が増えています。総務省の調査では、介護をしながら働く人は291万人といい、仕事と介護の両立は負担が大きく、介護を理由に退職した人は年間10万人に上るといいます。本市の対策や対応について伺う。

健康福祉部長 就労されている家族の方々の介護負担の解消なども含めまして、高齢支援課では、介護保険の申請方法や、またデイサービスやショートステイ、特養など、さまざまな在宅、施設サービスの提案、相談を行っています。



清瀬 自民  
ク ラ ブ  
石井秋政

旧清瀬小児病院跡地の活用について

旧小児病院跡地、約4万8千平米については、都水道局による約2万平米の浄水場計画が浮上している。残りの2万8千平米については、これまで公園計画や福祉施設などの提案が個別に出されてき

た。今回、六小地区自治会連合会からドーム型ハウス植物栽培施設と共生公園の提案も出されている。跡地にふさわしい活用をするため全市民的なアイデアを募り、市民の声を力にし、東京都と交渉することを提案する。

学校の吹奏楽部への育成支援を求める

各種イベントでの小中学生による吹奏楽の演奏は、多くの人に感動を与えている。楽器修理や運送費などの経済的負担、発表の場も少ないと聞く。支援の充実を求める。

教育部参事 部活動に係る経費は、その活動の成果が個人に還元されることから、私費負担を原則とすべきである

\*印は、10 ページに用語の解説があります。

と考えます。上部大会に出場するような部活動に対しては、教育委員会として具体的な支援のあり方について、校長会とともに検討をしていきます。

高齢者の健康寿命の拡大に  
つなぐ

平成24年、日本人女性の平均寿命が再び世界一の座を取り戻した。自力で暮らせる健康寿命の拡大も新たな課題である。日常生活の中に運動する機会の増加対策を求める。

健康福祉部長 清瀬市や関係団体が行っている様々な運動関連事業に多くの方が参加しています。今後も、機会を捉えて運動の意義や身体活動を増やす方法について、関係部署、関係団体と連携をとりながら普及啓発活動を行っていきたいと考えています。

用語の解説

\*ふらつとサロン

ふらつとサロンとは、地域市民センターや老人いこいの家などを利用して、高齢者の方々の交流の場、健康づくりの場となることを目的に開設しています。出入り自由なサロンです。

\*IS値

構造耐震指標（IS値）とは、耐震診断により建物の耐震性を示す指標で、IS値0.6以上は耐震性能を満たし大規模地震に対して倒壊または崩壊の危険性が低いとされ、IS値0.3未満は倒壊または崩壊の危険性が高いとされています。

\*コミュニティソーシャルワーカー（CSW）

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）とは、支援を必要とする高齢者や障害者、子育て中の親などに対して、見守りや課題の発見、相談援助、必要なサービスや専門機関へのつなぎをするなど、要介護者の課題を解決するため支援をする人です。また、地域の福祉力を高めたり、セーフティネットの体制づくりをはじめ、地域福祉の計画的な推進を図るために関係機関・団体などに働きかけます。

\*目黒巻

目黒巻とは、災害時の状況を自分自身の問題としてイメージするトレーニングツールです。

\*DV（ドメスティック・バイオレンス）

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、同居関係にある配偶者や内縁関係の間で起こる家庭内暴力のことです。近年では同居の有無を問わず、元夫婦や恋人など近親者間に起こる暴力を指す場合もあります。

\*認定農業者

認定農業者とは、田畑の拡大や機械化など5年間の経営改善計画を市町村に提出し、認められた個人や法人です。

\*圃場

圃場とは、作物を栽培する田畑、農園のことです。

\*マイナンバー制度

マイナンバー制度とは、国民一人ひとりに固有の番号を割り当てて、徴税と社会保障給付に活用する「共通番号（マイナンバー）制度」です。

\*TPP

TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）とは、太平洋周辺の国々の間で、ヒト、モノ、カネの移動をほぼ完全に自由にしようという国際協定です。

市議会 日誌

8・19 各派代表者会議  
議会運営委員会

20 三多摩上下水及び道路建設促進協議会（各県庁及び東京都へ陳情行動）

21 柳泉園組合議会代表者会議

28 柳泉園組合議会定例会

30 都市高速鉄道12号線延伸促進協議会  
本会議（初日）

9・3 決算特別委員会  
各派代表者会議

5 本会議（一般質問）

6 本会議（一般質問）

9 本会議（一般質問）

10 総務文教常任委員会

11 福祉保健常任委員会

12 建設環境常任委員会

18 議会運営委員会

18 決算特別委員会

19 決算特別委員会

20 決算特別委員会

27 本会議（最終日）

9 各派代表者会議

10 各派代表者会議

9 長野県立科町議会（社会文教観光常任委員会）が、災害時における福祉避難所の利用と相互支援について、社会福祉法人信愛報恩会 信愛の園と清瀬市社会福祉協議会を視察

10 11福祉保健常任委員会が、滋賀県大津市、兵庫県尼崎市を視察

17 18建設環境常任委員会が、兵庫県神戸市、大阪府高槻市を視察

21 各派代表者会議  
議会運営委員会

22 23総務文教常任委員会が、三重県桑名市、山梨県甲府市を視察

29 第2回臨時議会

31 東京たま広域資源循環組合議会定例会

10 11福祉保健常任委員会が、滋賀県大津市、兵庫県尼崎市を視察

17 18建設環境常任委員会が、兵庫県神戸市、大阪府高槻市を視察

21 各派代表者会議  
議会運営委員会

22 23総務文教常任委員会が、三重県桑名市、山梨県甲府市を視察

第4回定例会の開会予定

平成25年清瀬市議会第4回定例会を12月2日（月）から12月18日（水）まで、会期17日間をわたり開会する予定です。

◇日程（案）

12・2 本会議（初日）

4 本会議（一般質問）

5 本会議（一般質問）

6 本会議（一般質問）

10 総務文教常任委員会

11 福祉保健常任委員会

12 建設環境常任委員会  
議会運営委員会

18 本会議（最終日）

常任委員会視察

福祉保健常任委員会

平成25年10月10日(木)・11日(金)実施

①滋賀県大津市立やまびこ総合支援センター「障害者の24時間ホームヘルプ事業」について

看護師をはじめ、作業療法士や理学療法士などの専門職を配置し、医療ケアを伴うヘルプサービス事業、緊急時のヘルプサービスを提供しています。

他事業所との連携・調整により、緊急時にも利用者の必要なニーズに対応しています。

②兵庫県尼崎市

「ヘルスアップ尼崎戦略事業(生活習慣病予防検診など)」について

健診結果とレセプトデータを合わせること、疾病傾向を分析し、徹底的な健診と保健指導によって、健康づくりを行い、結果として医療費を削減しています。

ヘルスアップ戦略推進会議を立ち上げ、全庁的に健康づくりにと取り組んでいます。



やまびこ総合支援センター前で福祉保健常任委員とセンター所長(右端)



高槻市内のバイオコークス製造工場を視察

建設環境常任委員会

平成25年10月17日(木)・18日(金)実施

①兵庫県神戸市

「ワケトンエコショップ(廃棄物の発生抑制、減量化、再資源化)」について

神戸市は家庭系ごみ減量とともに事業系ごみの減量に向け取り組みを進めている。廃棄物の発生抑制、減量化、再資源化、適正処理等に取り組み小売店をワケトンエコショップ、飲食店・旅館等をワケトンエコレストランとして認定。事業者、市民ともに環境保全に対する意識の高揚を図り、ごみ減量の取り組みについて視察をしました。

②大阪府高槻市

「バイオマスタウン構想について」

高槻市は家畜の排泄物や稲わら、枯れ草、森林系未利用木材などを生物資源として再利用するシステムを構築し循環型社会をめざすバイオマス構想を展開。また、森林系未利用木材などの植物性バイオマスを原料とする石炭コークスに代わる新しい固形燃料のバイオコークス製造事業について視察をしました。

総務文教常任委員会

平成25年10月22日(火)・23日(水)実施

①三重県桑名市

「PFI手法による図書館運営」について  
日本で初めてPFI手法による図書館を設立。保険センター、青少年ホームを併設する複合施設。面積、蔵書数、開館時間、開館日数などが大幅に改善された。自動貸出機導入など新しいシステムを採用。PFI手法による建設、運営維持管理費の削減効果は約21億円。

②山梨県甲府市

「新庁舎視察(耐震等)」について  
分散化、老朽化した庁舎を約6年かけて建て替えた。防災の拠点機能、総合相談窓口、市民開放スペースの設置。ユニバーサルデザインへの対応、免震構造、自然エネルギーの導入。

合併特例債、基金、補助金を有効に活用。議会と連携、市民参画と協働を推進した。



甲府市新庁舎について説明を受ける

都市高速鉄道12号線(都営大江戸線)延伸促進の要望

都市高速鉄道12号線の練馬区光が丘先から新座市、清瀬市を通じてJR東所沢駅に至る区間の延伸促進を働き掛けるため、粕谷議長は、関係市・区とともに、10月21日、上田埼玉知事に対し要望書を提出しました。



上田埼玉知事に要望書を手渡し、粕谷議長(右から2人目)と渋谷市長(右から4人目)

臨時会を開会

平成25年清瀬市議会第2回臨時会を10月29日(火)に開会し、次の議案を審議しました。

▼議案第69号

清瀬市立内山運動公園等に設置された構築物の撤去を求める調停申立てについて  
市が内山運動公園等に設置された構築物の撤去を求める民事調停を申立てる議案  
――全員賛成 可決――

▼議員提出議案第17号

清瀬市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例  
市議会議員の12月分期末手当を0.25月分減額する条例  
――全員賛成 可決――

▶提出された議案等の結果

第3回定例会(9月)で審議された議案等の結果(○:賛成 ×:反対)

▶市長提出議案

議案番号	件名	清瀬自民ク	共産党	公明	風・ネット	議決結果
議案第47号	専決処分の報告について(清瀬市立学童クラブ条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	承認
議案第48号	平成24年度清瀬市一般会計歳入歳出決算	○	×	○	○	認定
議案第49号	平成24年度清瀬市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	×	○	○	認定
議案第50号	平成24年度清瀬市下水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	認定
議案第51号	平成24年度清瀬市駐車場事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	認定
議案第52号	平成24年度清瀬市介護保険特別会計歳入歳出決算	○	×	○	○	認定
議案第53号	平成24年度清瀬市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	×	○	○	認定
議案第54号	平成25年度清瀬市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	可決
議案第55号	平成25年度清瀬市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	×	○	○	可決
議案第56号	平成25年度清瀬市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	可決
議案第57号	平成25年度清瀬市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	可決
議案第58号	平成25年度清瀬市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	可決
議案第59号	清瀬市市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
議案第60号	清瀬市立保育園設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
議案第61号	清瀬市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
議案第62号	清瀬市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
議案第63号	清瀬市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
議案第64号	清瀬市立公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
議案第65号	清瀬市道の路線の廃止について	○	○	○	○	承認
議案第66号	清瀬市道の路線の認定について	○	○	○	○	承認
議案第67号	東京たま広域資源循環組合規約の一部を変更する規約について	○	○	○	○	可決
議案第68号	清瀬市立清瀬第五中学校校舎大規模改造工事(建築)請負契約の契約変更	○	○	○	○	可決

▶議員提出議案

議案番号	件名	清瀬自民ク	共産党	公明	風・ネット	議決結果
議案第11号	「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく具体的施策の早期実施を求める意見書	○	○	○	○	可決
議案第12号	寡婦控除を全てのひとり親家庭まで拡大することを求める意見書	○	○	○	○	可決
議案第13号	オスプレイの横田基地配備検討の撤回を求める意見書	○1	×6	○	○	可決
議案第14号	消費税増税の中止を求める意見書	×	○	×	×	否決
議案第15号	「地方税財源の充実確保」について	○	×	○	○	可決
議案第16号	新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書	○	×	○	○	可決

▶陳情

陳情番号	件名	清瀬自民ク	共産党	公明	風・ネット	議決結果
陳情第4号	新聞への消費税軽減税率適用を求める陳情	○	×	○	○	採択
陳情第5号	陳情 都立小児病院の名前を街に残してください	×	○	×	○1 ×3	不採択

▶報告

報告番号	件名	清瀬自民ク	共産党	公明	風・ネット	結果
報告第3号	平成24年度財政健全化判断比率等の報告について	—	—	—	—	了承
報告第4号	清瀬都市開発株式会社の経営状況について	—	—	—	—	了承
報告第5号	平成24年度清瀬市土地開発公社歳入歳出決算	—	—	—	—	了承

※表中の会派の名称及び議員名  
 清瀬自民ク＝清瀬自民クラブ(森田正英・渋谷けいし・渋谷のぶゆき・石井秋政・友野ひろ子・中村清治・斉藤正彦 7人)  
 共産党＝日本共産党(原田ひろみ・深沢まさ子・佐々木あつ子・宇野かつまる 4人)  
 公明＝公明党(鈴木たかし・斉藤あき子・西上ただし・西畑春政 4人)  
 風・ネット＝風・生活者ネット(小西みか・宮原理恵・石川秀樹・斉藤実 4人)  
 ※( )内の数字は、会派所属議員数を示したものです。ただし、清瀬自民クラブについては、議長を除いた数です。